

令和 5 年 6 月 8 日現在

機関番号：12103

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2022

課題番号：17K04194

研究課題名（和文）手話を用いる聴覚障害女性の生活構造に関する文献調査・実証研究

研究課題名（英文）Literature survey and empirical research on the life structure of deaf women who use sign language

研究代表者

小林 洋子（Kobayashi, Yoko）

筑波技術大学・障害者高等教育研究支援センター・講師

研究者番号：20736657

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、聴覚障害のある女性個人の生活構造に焦点を当てて、彼女たちの社会参加における聴覚障害の側面、手話言語の側面、ジェンダー（女性）の側面 それぞれの課題を索出し、聴覚障害のある女性が置かれている状況を改善するための条件を明確にすることである。文献調査と面接調査により、聴覚障害女性の置かれてきている境遇や日常生活の様子を掘り起こし、また微細な心情を聞き取ることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

聴覚障害女性当事者の視点から、聴覚障害者の男性女性それぞれの違いに着目した研究開発の発展に寄与し、わが国の聴覚障害教育および障害者支援の更なる向上にとって大きな意義を持つと考える。そして、研究者間にとどまらず、地域社会との連携を図ることで、ジェンダー平等と女性のエンパワメント支援および生涯にわたるキャリア形成支援の取組みは更に発展し、大学コミュニティや大学と地域との連携コミュニティのパフォーマンス向上および更なる大学・地域の発展に寄与するものと期待できる。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research is to focus on the life structure of deaf women, and to find out the challenges of their social participation in terms of deaf, sign language, and gender (female), and clarify the conditions for improving the situation in which deaf women are placed. Through literature research and interviews, I was able to unearth the circumstances and daily lives of deaf women, and to hear their subtle feelings.

研究分野：社会学

キーワード：聴覚障害 手話言語 女性学・ジェンダー エンパワメント ワークライフバランス

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

わが国において障害のある女性は、個々人のさまざまなライフイベントに加えて女性という性による社会的ジェンダー差や障害を持つことの複合化により様々な課題を抱えていると言われている。日本政府が2014年に批准した国連障害者権利条約に障害のある女性の完全な発展と地位の向上およびエンパワメントを確保することを目的とした条文(第6条:「障害のある女性」)が含まれており、今後障害のある女性の課題解決に向けた政策の推進が望まれている。実証に基づいたジェンダー課題の索出と整理を行い、聴覚障害女性のエンパワメント支援のあるべき姿を明確にすることができると考えている。また、国内にとどまらず海外における研究や取組みの動向も併せて把握していくことで、わが国における今後の聴覚障害女性に関する研究のための学際的な手段の整理と研究開発の発展に寄与することができる。そして、地域ネットワークを適切に活用し聴覚障害者を取り巻く社会環境の状況や制度などの社会資源を無駄なく相互利用できるような取組みを行っていきたいと考えている。

## 2. 研究の目的

わが国の聴覚障害女性個人の生活構造に焦点を当てて、彼女たちの社会参加における聴覚障害の側面、手話言語の側面、ジェンダー(女性)の側面それぞれの課題を索出し、聴覚障害女性が置かれている状況を改善するための条件を明確にすることを目的とする。

## 3. 研究の方法

まず、文献調査および欧米現地調査におけるろう女性学専門家へのヒアリングを通して国際的な動向を把握する。そして、国内における聴覚障害女性が置かれている実態を明らかにするための面接調査を実施する。次に、面接調査で得られるデータを分析して、聴覚障害女性の生活構造の類型化を行い、文献調査データと照合して分析し、結論を出す。最後に、本研究の結果をデータベース化して教育の教材としても使えるようにする。

## 4. 研究成果

日本および欧米を中心に、聴覚障害女性に関して、文献資料をはじめ活動報告書や政策文書、カリキュラム、生活実態報告書等の収集と分析を行い、聴覚障害女性を取り巻く国際的な研究動向を把握した。その上で、就労経験のある成人の聴覚障害女性を対象に、聴覚障害女性

を取り巻く諸問題(家庭・教育・キャリア・地域活動等)、聴覚障害女性たちの状況を決定づけている条件、彼女たちが感じる差別感を生み出している心理的要因とそれらが生み出される過程、差別感から解放された過程などの側面においても聞き出しを行い、映像に録画して逐語録を作成した。文献調査データと面接調査データを相互に関連させながら分析と解釈を重ねた上、データを整理してデータベース化を行い、聴覚障害女性の類型化された生活構造を分析した。研究成果のまとめとして、データの一部を啓発動画と啓発資料として作成し、インターネット上への公開を行い、本研究の取組みを広く一般に周知した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 小林洋子	4. 巻 174
2. 論文標題 性別ではなく、あらゆる多様性を認め、個を尊重し合える社会へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 MIMI（季刊みみ）	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小林洋子	4. 巻 29
2. 論文標題 聴覚障害者に関する統計データ資料等に関する検討 ジェンダーの視点から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Yoko Kobayashi, Yutaka Osugi	4. 巻 5
2. 論文標題 Deaf Women's Participation, Movements, and Rights: Listening to the Voices of Deaf Women in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Deaf Studies Digital Journal	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3998/dsdj.15499139.0005.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 小林洋子	4. 巻 5
2. 論文標題 障害のある人にとって生きやすい社会とは-聴覚障害のある女性の視点から考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月間「We learn」	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Y, Masao Iwagami, Eriko Tsukazaki, Taeko Watanabe, Takehiro Sugiyama, Tetsuro Wada, Akira Hara, Nanako Tamiya.	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between self-reported hearing loss and outdoor activity limitations, psychological distress, and self-reported memory loss among elderly people: Analysis of the 2016 Comprehensive Survey of Living Conditions in Japan (邦題:聴覚障害のある高齢者と活動制限、メンタルヘルス、痴呆症との関連:2016年度国民生活基礎調査による分析研究)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 747-754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林洋子	4. 巻 26(2)
2. 論文標題 聴覚障害のある女性をめぐる多様な働き方やライフスタイルの実態把握にむけて~2テーマ「キャリア」と「発達障害」を取り上げたセミナーを通して見えてきたもの~	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 17-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長野留美子, 小林洋子, 大杉豊	4. 巻 26
2. 論文標題 日本聴力障害新聞記事の「ろう女性」データベース作成~戦後から2010年までを対象に~	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 31-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 門脇翠, 小林洋子, 大杉豊	4. 巻 26
2. 論文標題 聴覚障害を持つアスリートのスポーツとの関わり-一般校にインテグレートしたある女性選手の事例に着目して-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林洋子	4. 巻 26
2. 論文標題 ろう女性運動の先駆者的な役割を果たした女性のキャリア発達：ライフヒストリーアプローチによる事例分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林洋子	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 聴覚障害のある女性の社会参加における課題の明確化：ろう者学と女性学・ジェンダー論の接点を見据えて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 筑波技術大学テクノレポート	6. 最初と最後の頁 124-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 Yoko Kobayashi, Yutaka Osugi, Yasushi Ishihara
2. 発表標題 Deaf and Hard of Hearing Employee's Interest in Career-Building
3. 学会等名 23rd International Congress on the Education of the Deaf (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林洋子
2. 発表標題 聴覚障害者活動：日本と海外の状況
3. 学会等名 社会福祉法人つくば市社会福祉協議会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林洋子
2. 発表標題 With & Beyond コロナ 誰一人取り残さないジェンダーインクルーシブな社会とは
3. 学会等名 2019年度大学女性協会国内奨学生報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kobayashi Y, Osugi Y
2. 発表標題 Career Development Program and Gender Equality: Deaf Women 's Perspective on Work Family Balance. (邦題: ジェンダー平等の視点からみたキャリア発達プログラム: 聴覚障害のある女性のワークライフバランスへの観点)
3. 学会等名 World Federation of the Deaf Congress 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kobayashi Y
2. 発表標題 Deaf History and Women 's Life Story in Japan (邦題: 日本におけるろう者の歴史とろう女性の人生)
3. 学会等名 California State University, Northridge
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kobayashi Y, Osugi Y
2. 発表標題 Deaf Women 's Participation, Movements, and Rights: Listening to the Voices of Deaf Women in Japan (聴覚障害のある女性の社会参加、運動、権利: 日本における聴覚障害のある女性たちの声から)
3. 学会等名 2018 Deaf Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林洋子
2. 発表標題 聴覚障害のある女性のキャリア教育に関する研究：育児と仕事を両立する聴覚障害女性への面接調査の結果から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林洋子, 石原保志, 大杉豊
2. 発表標題 聴覚障害者のキャリア発達支援に関する研究：ジェンダーの視点をふまえたキャリア教育の必要性を見据えて
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 小林洋子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 生活書院	5. 総ページ数 296
3. 書名 ろう女性学入門 - 誰一人取り残さないジェンダーインクルーシブな社会を目指して	

1. 著者名 小林洋子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 312
3. 書名 欧米で発展している「ろう者学」カリキュラム. 大杉豊・久松三二編. 手話言語白書	

〔産業財産権〕



〔その他〕

ろう・難聴&女性学・ジェンダー論  
<https://deafstudies.jp/kobayashi/category/dwgs/>  
ろう・難聴&女性学・ジェンダー論  
<https://deafstudies.jp/kobayashi/category/dwgs/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大杉 豊  (OSUGI YUTAKA)  (60451704)	筑波技術大学・障害者高等教育研究支援センター・教授    (12103)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------